

野洲支部主催『納涼の会』結果報告

8月26日当日は朝から一段と残暑が厳しく納涼の会にはふさわしい天候に恵まれ、多分皆さんはワッリ、幹事はスリリと言った心境ではなかったでしょうか。

参加者は遠く神戸からご参加の阿部 信一・勝子ご夫妻、ご主人抜きでも駆けつけて下さった奥様の木村 啓子さん、野洲支部主催行事に今回初参加の林 嘉彦・陽子ご夫妻等々総勢22名(内奥様9名)となりました。

愈々午後6時前本日のメイン会場となる屋形船への乗船組と小舟で炭火テンカラ用の川魚を投網で捕獲するのを見学する組に別れて、琵琶湖瀬田川畔を出発。

川魚を投網で捕獲するのを見学していると、漁師さんが先ず5分間位川を下った所で舟を止めて投網を試みましたが川魚が捕れず失敗、又少し舟を動かし投網、という動作を何回か繰返しその都度捕れず、今日はひょっとしたら捕れないかもと見学者を少しやきもきさせておいて、頃合を計って川魚の居る場所に移動して捕るあたり、時間調整と見学者の心理を巧みに利用した演出はなかなかのものと感心させられました。

そして屋形船へ全員合流、今捕った川魚を炭火でテンカラをしながら納涼会のスタートです。

旅館前乗船場から10分位川を下った川岸に停泊させスタート。しかし日が落ち、辺りが暮れて来ても涼風は吹かず全く夕風の状態で酔いも手伝い体感温度は高まるばかり。そこで急遽瀬田の唐橋から近江大橋下をくぐって琵琶湖に入る辺りまでを屋形船を往復走らせることに決定。船が動き出すと船内の様相が一変、爽やかな涼風をなびかせ兩岸に建並ぶ街の灯を眺めながら、宴が深まるにつれ会員相互間のもとより奥様同士の楽しい語らいも一段と弾み、まさしく湖国の幸を味わいながら、飲んで、語って、歌って、踊ってととにかく楽しく納涼の会にふさわしいひとときを満喫することが出来ました。

下船後も直ぐには去り難く又又時間を延長して今度は旅館の一室で入浴しながらお祭り大会と益々の盛り上がりをご皆さんで実現出来て大変良かったと思います。

反省点は開催案内で参加者が増えれば会費も安くなると言っておきながら色々変更を加え臨時徴集をしたことでした。紙面を借りてお詫び申し上げます。

ともあれ、皆さんで作ったあの雰囲気、あの笑顔、素晴らしい団樂のひとときを本当にありがとうございました。次の行事でも初参加の方々への期待と、今回ご参加頂いた皆さんとの再会を楽しみに結果報告とさせていただきます。

・ 以上
(担当: 柴原 喬)